

1 単 元 My Favorite Person ～自分の好きな人アピール大作戦！～

2 単元の目標

- (1) 自分の好きな人について相手の理解を確かめながら話し、聞き手の様子に応じて言い直したり、繰り返したりして確実に相手に伝えようとするができる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 自分で取り上げる人物や話題を選び、紹介文の構成を考えながらわかりやすい文法で英文を書くことができる。 (外国語表現の能力)
- (3) 三人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文と応答文を用いて、伝えられた情報や内容を理解し、更に質問をすることができる。 (外国語理解の能力)
- (4) 三人称単数現在形の肯定文、否定文、疑問文と応答文の意味・用法を正しく理解し、一般動詞の文と be 動詞の文を正しく使い分けながら話すことができる。 (言語や文化についての知識・理解)

3 単元の構想

(1) 生徒観

英語学習に対して、多くの生徒が真面目に取り組むことができる。4月から文字と発音の関わりを学び、英語らしい発音で大きな声で英語の歌を楽しく歌っている。be 動詞と一般動詞を使用した言語活動では、パターンプラクティスや生徒同士のペア活動を意欲的に取り組む姿がある。英語が得意、不得意にかかわらず、お互いに助け合って学習しようとしている。ペアで一問一答の質問に対して臆することなく取り組むことができるようになった。

7月にALTや学級の仲間に対して自己紹介のスピーチを行った。初めてのスピーチ活動であったが、さまざまなペアを相手に何度も練習を重ねたことで、大きな声でゆっくりはつきりと英語でスピーチをしようとする生徒の姿が多く見られた。学校生活で英語の授業以外にも“Wow!” “Oh, my god!” など英語での反応が聞こえるようになった。

本単元では、好きな人物について紹介し合う活動を通して、自分が書きたいことを既習単語や内容を使い書く、写真や絵などの視覚効果を使って原稿に頼らずに話し、質問したり質問に応じたり、相手の発話に積極的に反応する姿勢を高めていきたい。

(2) 教材観

今までは、一人称と二人称を学び英語で表現できる範囲が限られていた。Unit2でbe動詞を用いて人を紹介する場面を学習した。言語材料としては、初めて三人称単数現在形が導入される。この単元で三人称単数が主語となる一般動詞を用いた文を学習することにより、人を紹介したり、尋ねたりする上で更に表現の幅を広げることができる。

(3) 指導観

第1～3時では、系統的な学習で進める。人物紹介文の構成や質問のやりとりをつかみ、正しい発音を身につけるために、新出単語の確認をする。基本文の口頭練習を繰り返し行うことで、三人称単数現在形の意味・用法を定着させる。

第4時では、教師が身近な人物についてのデモンストレーションをすることで生徒が興味をもたせたい。また、「私の好きな人も紹介してみたい。」「できるようになりたい。」という生徒の思いを引き出したい。人物の説明文の原稿を書いたり、話したりすることで、生徒自らが問題点を見つけ、生徒の表現的かつ技術習得的な問題意識を引き出す。そして、どうやったら相手に伝わる人物紹介になるのかということを経験問題として取り上げる。そのためには、系統的な学習と問題解決的な学習の個別的な学びと協働的な学

びを効果的に取り入れていく。個別的な学びでは、今まで学習した文法や単語を使い、人物紹介の文章を個人で考える。ライティングの手立てとして、語順に留意させて口頭練習を行い、できるだけ文章を暗記するように取り組んでいる。また、音と文字の結びつきを考えて、Read&Look up を取り入れて本文を音読するようにしていく。

本単元の題材が人物紹介となっているが、ただ文章を羅列するのではなく、人物紹介のよい例と悪い例を提示することでどのような人物紹介が相手に伝わる人物紹介かに気づかせる。プラス一文書き加えたり、人物紹介の中で疑問文を使い、相手が興味を引くような人物紹介文になるような工夫ができる支援をしていきたい。更に相手に伝わる人物紹介にするために学習形態をペア活動やグループ活動にし、生徒自身がよい点、改善点や工夫すべき点を見つけ互いに教え合う学級のよさを生かしながら支援していく。そして、練習や話し合いを通し生徒が積極的に学び合い、できなかったことができるようになるという自分自身の成長を味わわせたい。

(4) 授業計画（10時間完了・本時8／10時間）

※問題＝問題解決的な学習

（Ⅰ気づく Ⅱつかみ通す Ⅲ個別的な学びで追求する Ⅳ協働的な学びで追求する Ⅴ見つめ直す）

系統＝系統的な学習

※	学 習 活 動	○数字は累計時間数	◆支 援
問題 Ⅰ	JET が ALT に何を言ってるのか知りたいな① 手立て1① イチローはヤンキースか。カレー好きなんだ。知らなかった。 主語が He や She の時は s や es が付いてるけど、何だろう。 対話が長く続いている。すごいな。反応したり、繰り返してる。 前に友達紹介書いたけど・・・ ・Unit2 で書いた be 動詞を使用した友達紹介を行う。 みんな同じようなことを ALT に伝わってる言ってるな。何でだろう。のかな。不安だな。 私の好きな人をみんなにアピールできたらいいな。 でも be 動詞だけでは言えることが限られる。 ⇒ どうやって言えばいいのかわからない。		◆生徒が興味をもつために、生徒にとって身近な人物を取り上げる。 ◆発表に対しての意識を高めるために、発表のポイントや聞き手のマナーを再度確認する。 ◆第②時、今までの一人称、二人称と三人称の違いに気づくように文を提示する。 ◆第③時、質問がスムーズに出るように、パターンプラクティスを繰り返す。 ◆第③時は、例文を示すことで、話題を1つにすることによりその人物を理解できるようにする。 ◆第⑤時は、人物紹介のアイデアが出やすくするために、ブレインストーミングを取り入れる。 ◆使用しそうな
系統	どうやって好きな人をみんなにアピールしたらいいんだろう？ 手立て1② ②三人称単数現在形を使って、身近な人を紹介しよう。(Unit6 Part1) ③紹介された人に対して、Does he/she~?を用いて、質問をしよう。(Unit6 Part2) ④身近な人について紹介しよう。(Unit6 Part3) アピールする文法がわかったよ。		
問題 ⅡⅢ	私の好きな人について書いて、まとめたいな。⑤ ・ブレインストーミングや教科書を参考にし、紹介文を書く。		

III IV

私の好きな人についてたくさん書けた。みんなこの人について知ってるのかな。

三人称単数現在形の時はsやesをつけるんだね。一般動詞とbe動詞は違うんだね。

対話や反応をしやすいように質問を入れるといいね。

書けたけど、私の書いたことって他の人に理解してもらえるのかな。

英文が合っているかどうか知りたいな。⑥

手立て2

- ・学級全体やグループ活動を通して、be 動詞や一般動詞の使い方を確認し、相手のよいところを取り入れながら原稿を改善する。

人物について深く伝えるために詳しく書くとよいんだ。

〇〇さんの見てわかったけれど、主語によって一般動詞は変化するんだね。

OK?や単語を繰り返すと会話っぽくなるんだ。

原稿の内容や文法は、最初よりわかるようになってきた。

みんなにも〇〇のことを好きになって欲しいな。⑦⑧⑨

手立て2

III IV

- ・写真や絵を使いポスターを作成し、相手に自分の好きな人をアピールできるように練習する。
- ・グループで発表をし、英語で反応や質問をする。

〇〇さんは、××のこと好きなんだ。しかも詳しいな。

文法もパターンがあるから、整理してみよう。

質問は前もって用意するとよい。Does he/she~?で聞くとよいんだね。

〇〇さんは××のこと好きなのにはビックリだった。もっと他の子に言いたい。

- ・学級全体に自分の好きな人を発表する。

〇〇さんの発表わかりやすくて、魅力的だったな。

内容も話し方もよくなってるはず。ネイティブに伝わるか楽しみ。

ALTに紹介をしたいな。⑩

V

- ・前時の反省をふまえて、文章を改善したり、発表の仕方を工夫し、ALTに発表する。

ALTに自己紹介わかってもらえた。外国人に会っても自己紹介できる。

語彙や表現をWord Bankで示し紹介文を書きやすくするために、誰の紹介をするのかあらかじめ把握する。
◆第⑥時では、書き方の工夫を発見できるように、人物紹介の良い例と悪い例を学級全体で見比べる。
◆より多くの人に紹介文をチェックしてもらい改善するために、グループ活動の形態を工夫する。
◆第⑧時、友達の発表を聞き、発表の態度や表現で更に高めたいポイントをアドバイスし合う。
◆生徒全員が理解の確かめや反応ができるように、OK?やWow!など簡単な表現で伝わることを確認する。
◆第⑨時は、わかりやすい発表のしかたをしている友達の発表方法を披露し、自分の発表に取り入れる時間をもうける。
◆第⑩時、ALTに褒めてもらい、自信をもたせる。

4 本時の学習

- (1) 本時の目標
- 自分の好きな人物の情報やすばらしさについて be 動詞と一般動詞を正しく使い聞き手の様子に応じて確実に伝えようといふことができる。
 - 人物紹介の内容を理解し、質問することができる。
- (2) 授業過程（＊→個＝個別的な学び、協＝協働的な学び）

時間	*	●学習活動	◆教師の支援	※指導上の留意点	評 価
5		●“Take Me Out to the Ball Game”を歌う。 ※顔を上げて歌えるように、歌詞をスクリーンに映し出す。			
10	協	●人物紹介のビデオを見て、どのような紹介がいいかを考える。 ・自分たちが使える、人物紹介の仕方を学級全体で話し合う。 ※学級全体に見えやすいように、例を黒板に貼る。			
		3人称単数形の s とか es の発音聞こえるように意識して言おう。 ポスターを効果的に使うには、アイコンタクトも必要なんだ。 聞き手の様子も見ながら、言葉を繰り返しながら発表すると、わかってもらえるんだ。			
		自分の好きな人を相手に紹介したら、ちゃんと伝わるかな。			
15	個	●人物紹介発表の個人練習をする。 ・効果的な発表の仕方を参考にして、原稿を見ないで練習をする。			
		be 動詞や一般動詞の使い分けができていないか。＜個人練習＞ ◆一般動詞の変化表を配付し、生徒と一緒に確認をする。			
20	個	●ペアで人物紹介発表を最終チェックする。			
23	個	●グループ活動で互いの人物紹介発表をする。 ※グループ活動中に見本になる原稿や表現は学級全体に紹介をする。			
		話し手の内容を理解し、質問を1つ以上はできているか。＜グループ活動＞ ◆質問お助けカードを使うと、質問がしやすいことを助言する。			
		◆グループ活動の形態を工夫することにより、できるだけ多く発表できるようにする。			
40	個	●最初のペアで評価をする。			
45	個	●再度チェックし合い、改善された部分などを互いに評価する。 ●自己評価をして、本時の学びをふりかえる。 ※発見したことや本時の感想を書こうとなげかける。			

(3) 評 価

- 興関・表現：be 動詞と一般動詞を使い分け、ペアの感想や評価を参考にして人物紹介発表を改善し、質問することができたか。＜ワークシート・ふりかえりカード＞
- ◆ ワークシートやふりかえりカードに朱書きをし、自信をもたせるようにする。